

1 事業概要

課名		生涯学習・スポーツ課	事業No.	345
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	単年度
開始		S36	終了	
事務事業名		社会体育学校開放施設整備事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			教育振興基本計画
				スポーツ推進計画
	法令・例規等			
事業目的		対象	学校開放施設（体育館・校庭・武道場）の数：（施設56）	
		意図	安全で良好な環境で利用できるよう施設整備する。	

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	学校の体育施設を、学校教育に支障がない範囲で、社会体育の利用のために市民に開放し、スポーツの振興を図りました。各学校の照明機器及びスポーツ器具等の備品整備を行い、施設の充実を図りました。 (旭ヶ丘中学校体育館・伊賀良小グラウンド・飯田西中学校グラウンド・千栄小学校体育館、追手町小学校体育館)		照明修繕				1,691	
		その他の経費				66		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	不具合の発生による施設の休止日数	日	0	0				
29年度 決算 (千円)	予算額	1,764	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	1,757						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	1,757							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	3	11	2	1,764	1,757	社会体育学校開放施設整備費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	照明等の機器、社会体育に必要なスポーツ器具の不具合が発生し社会体育の利用に支障が生じることがあります。
上記の課題解決のための有効策	公民館・学校との連携をとり、緊急性・安全性に配慮しつつ計画的な整備を進めていく必要があります。
次年度に向けての取り組み	公民館・学校との連携を取り、施設の状態を良好に保つよう整備に努めます。